

## シカの菓子 いとおかし

### 奈良の刃物会社が発売

鎌倉時代に刀鍛冶として創業した刃物製造・販売会社「菊一文殊四郎包永」(本店・奈良市雑司町)が、愛らしい鹿の形をした菓子「春日鹿まんじゅう『かのこ』」を、奈良の新しい土産物として発売した。

春日大社の祭神・武甕槌命は白鹿に乗って御蓋山に降り立ったとされ、参拝に訪れた平安貴族は鹿を見ると「吉兆」と喜んだという。

「かのこ」は、角がある雄



鹿をイメージした新しい菓子「春日鹿まんじゅう『かのこ』」(奈良市で)

と、ない雌の2種類を作り、毛並みの斑点も表現。白鹿にちなんで、ミルク風味の白あんをもっちりとした皮で包んだ。約1年半かけて開発し、価格は2個入り300円(税込み)と6個入り800円(同)。

「菓子司 柳松庵」の名称で、同社本店など市内5店舗に加え、インターネットでも販売する。今後はカスタードや抹茶、チョコレートなど味を増やし、県内産いちじく「あすかルビー」などの使用も検討している。

16日に春日大社に「かのこ」を奉納した柳沢育代社長は「奈良にはこれまで、京都の『八ッ橋』のような菓子がなかった。定番の土産物にした」と話す。問い合わせは同社(0742・26・2211)。